

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第21週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (21週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：A型肝炎 1 例、日本紅斑熱 1 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、百日咳 10 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	—
			40歳代	女	無症状病原体保有者	—
			90歳代	女	結核性胸膜炎	発熱
		都城	80歳代	女	肺結核	—
4類	A型肝炎	日南	30歳代	男	—	全身倦怠感、発熱、白血球減少
	日本紅斑熱	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	60歳代	女	—	尿路感染症

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群				症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	40歳代	
5類	百日咳	宮崎市	1例		1			持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックート、ウーブ、チアノーゼ
		都城	5例		2	2	1	
		高鍋	4例	1	3			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

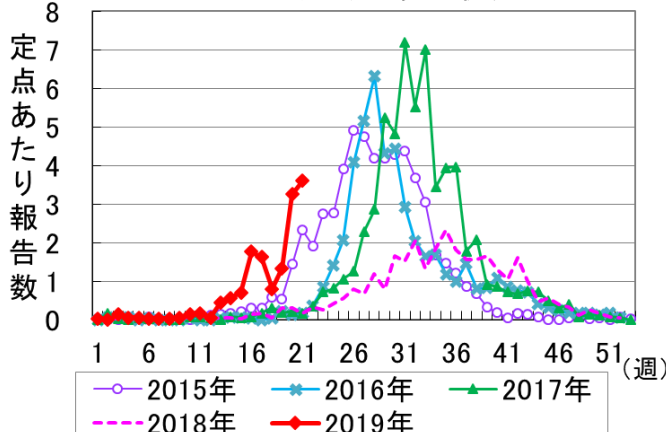
・定点医療機関からの報告総数は1,058人(定点当たり29.6)で、前週比109%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

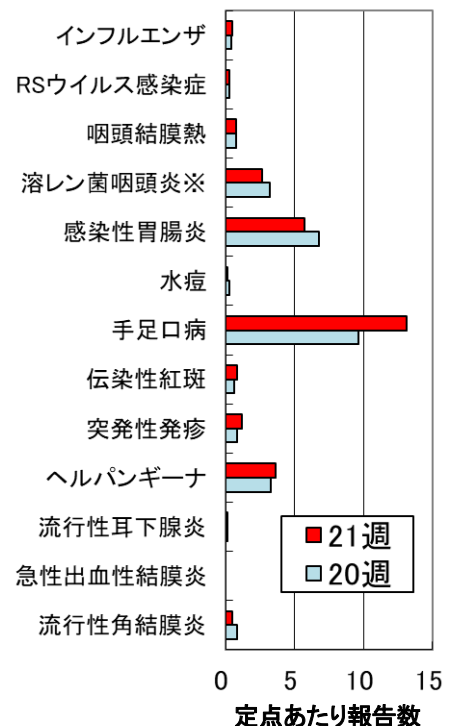
【ヘルパンギーナ】

報告数は130人(3.6)で、前週比111%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(0.71)の約5.1倍である。小林(10.0)、延岡(5.5)、日南(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~2歳が全体の約7割を占めている。

ヘルパンギーナ 発生状況



《前週との比較》

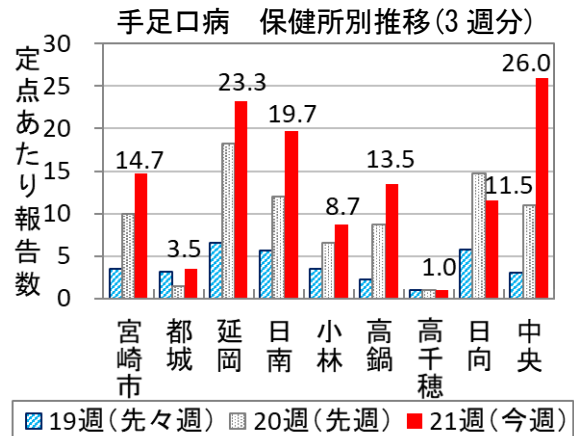
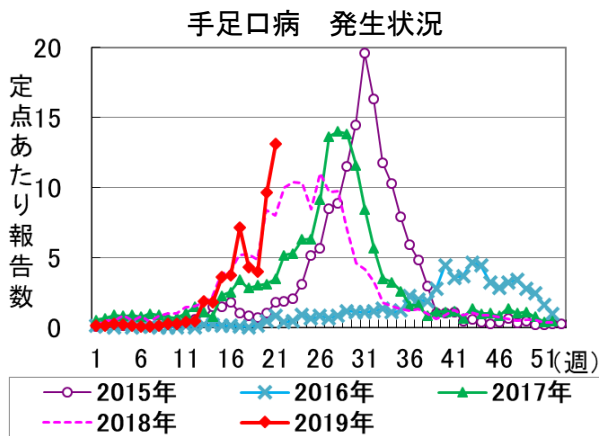


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【手足口病】

報告数は473人(13.1)で、前週比136%と増加しており、例年同時期の定点あたり平均値*(3.5)の約3.7倍である。中央(26.0)、延岡(23.3)、日南(19.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳が全体の約半数を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :

報告数は1例で宮崎市保健所からの報告であった。5~9歳で、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(14.7)
都城	なし
延岡	手足口病(23.3)、伝染性紅斑(2.5)
日南	水痘(1.0)、手足口病(19.7)
小林	手足口病(8.7)、ヘルパンギーナ(10.0)
高鍋	手足口病(13.5)
高千穂	伝染性紅斑(2.0)
日向	手足口病(11.5)
中央	手足口病(26.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- 手足口病(5.0)
- 伝染性紅斑(2.0)
- ヘルパンギーナ(6.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- 水痘(1.0)

🇯🇵 全国 2019 年第 20 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 20 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	354 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	56 例		
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	11 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
	つつが虫病	3 例	デング熱	7 例	日本紅斑熱	2 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	26 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	7 例	ジアルジア症	4 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	68 例
	水痘(入院例)	10 例	梅毒	69 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	242 例	風しん	55 例
	麻しん	32 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 129%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘である。

手足口病の報告数は3,048人(0.96)で前週比234%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.59)の約 1.6 倍である。鹿児島県(10.5)、宮崎県(9.6)、熊本県(2.9)からの報告が多く、年齢群別では1歳が全体の約半数を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第21週(05月20日～05月26日)

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	24	30	10	11	1		5		3		
	定点当り	0.41	0.51	0.63	1.10	0.14	0.00	1.00	0.00	1.50	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	10	10	8	1		1					
	定点当り	0.29	0.28	0.80	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	28	27	8	2	4	4		6		1	2
	定点当り	0.80	0.75	0.80	0.33	1.00	1.33	0.00	1.50	0.00	0.25	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	113	96	36	13	13	9	6	8		6	5
	定点当り	3.23	2.67	3.60	2.17	3.25	3.00	2.00	2.00	0.00	1.50	5.00
感染性胃腸炎	報告数	238	206	28	46	3	28	35	14	3	41	8
	定点当り	6.80	5.72	2.80	7.67	0.75	9.33	11.67	3.50	3.00	10.25	8.00
水痘	報告数	11	5		1	1	3					
	定点当り	0.31	0.14	0.00	0.17	0.25	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	337	473	147	21	93	59	26	54	1	46	26
	定点当り	9.63	13.14	14.70	3.50	23.25	19.67	8.67	13.50	1.00	11.50	26.00
伝染性紅斑	報告数	21	31	7	4	10	5			2	3	
	定点当り	0.60	0.86	0.70	0.67	2.50	1.67	0.00	0.00	2.00	0.75	0.00
突発性発しん	報告数	29	42	14	7	7	7	1	3		3	
	定点当り	0.83	1.17	1.40	1.17	1.75	2.33	0.33	0.75	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	114	130	27	8	22	15	30	9		19	
	定点当り	3.26	3.61	2.70	1.33	5.50	5.00	10.00	2.25	0.00	4.75	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	4		3							1
	定点当り	0.14	0.11	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	3	3								
	定点当り	0.83	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～21週)

2類感染症	結核	69例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例(1)	重症熱性血小板減少症候群	3例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例	日本紅斑熱	3例(1)
	レジオネラ症	2例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例(1)
	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7例	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	梅毒	10例	破傷風	1例
	百日咳	123例(10)	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲